



第9回スイーツウォーキング

去年の「祭王」もスイーツを満喫

観光スポットを巡りながら福津自慢のスイーツを食べ歩く「スイーツウォーキング」が、3月16日、ふくつ観光協会主催で開催されました。

スイーツ配布スポットの一つ、宮地嶽神社参道の「観光案内所@光の道」には、なんと去年の宮地嶽神社秋季大祭で祭王を務めた「博多ORIHIME」の白石ありさんが一番手で到着。「午後からイオンモール福津でライブがあるがどうしても参加したかった」と笑顔で話し、スイーツとウォーキングを満喫していました。



▲笑顔でガラポンを回す白石さん

救急車と救急資機材一式寄贈に対する感謝状贈呈式 地域医療への貢献が夢だった

宗像地区消防本部に佐々木好子さんから、高規格救急自動車と救急資機材一式の寄贈があり、感謝状贈呈などの式典が3月11日、福岡病院で行われました。佐々木さんは「地域医療に貢献することが長年の夢だった。患者さんのために存分に使ってほしい」と話していました。



▲感謝状を掲げる佐々木さん(左)と伊豆組会長(右)

福津市更生保護女性会の福津市立大和保育所訪問 健やかな成長を願って

福津市更生保護女性会の皆さんが手作りしたおもちゃを、2月28日、大和保育所に届けました。更生保護女性会は行政や保護司と連携しながら、地域社会の犯罪や非行の未然防止のための啓発を行っている団体です。毛糸で作ったおもちゃを手に、子どもたちは早速、楽しそうに遊んでいました。



▲手作りのおもちゃに思わず目が行く子どもたち

読者の皆さんから寄せられた市内の出来事や旬の話題をお届け 街角カメラリポート

イオンモール福津に用事があって、久しぶりに訪れた。どんなジャンルのものでも売っているショッピングモールが福津にあるのはとても便利だ。目当てのものを無事に手に入れ帰ろうと思ったとき、ふと2階の一面にぼんやりと光る箱が並んでいる、怪しげな空間が目に入った。

「何を売っている店だろうか」と不思議に思い近寄ると、いくつかのパネルと元気に泳ぎ回る魚

たちが。光る箱の正体は水槽で「上西郷川日本一の郷川をめざす会」という団体による、上西郷川に生息している魚の展示スペースだった。

全部で10種類ほどが展示してあり、そんなに大掛かりな展示ではないが、元気に魚たちが泳ぎ回る姿にしばらく見入ってしまった。

普段、自然に触れる機会はそんなにないが、思いがけず地域

の自然の一端を感じることができ、ちょっとほっこりした気分になった。



▲「多自然川づくり」の紹介パネルも展示

#わたしの福津光景Instagramフォトコン

切り取られた福津のすてきな一瞬の数々を



一般社団法人ひかりのみちDMO福津主催のフォトコンテストが、7月26日から11月30日まで開催されました。応募総数506点の中からグランプリに選ばれた作品は津屋崎祇園山笠の様子を撮影したもので、神輿の昇り手の躍動感や力強さが臨場感とともに伝わるすばらしい1コマを切り取った写真です。

入賞作品は4月24日(木)から5月11日(日)まで津屋崎千軒なごみで展示されます。また、5月19日(月)から5月25日(日)までアクロス福岡でも展示されます。観光サイト「福津ウェーブ」でも公開されていますので、ぜひご覧ください。



▲グランプリ作品「千軒の爆走」

NPO法人九州プロレスの上西郷小学校訪問

上西郷小のみんなを元気に

九州プロレスの旭志織選手とめんたい☆キッド選手が2月20日に、上西郷小学校を訪問しました。福津市出身の旭選手と福岡市出身のキッド選手は、プロレスラーになったころの苦労話のほか「人のために、地域貢献することで、みんなが応援してくれるようになった」と話し、今回のように学校や施設などの訪問活動をとっても大切にしているそうです。

その後、給食を児童と一緒に教室で食べ、最後まで子どもたちと触れ合う時間を楽しんでいました。



▲児童に熱く語りかける旭選手(左)とキッド選手(右)



令和7年4月1日、教育長に就任いたしました。子どもたちを取り巻く環境にはさまざまな課題がある中、未来ある子どもたちの心と体の豊かな育ちを支え、福津市の教育の充実・発展を担う重責を思いますと、その職責に身の引き締まる思いです。

変化の激しい、予測困難な時代といわれる今、感性を豊かに働かせながら、どのような未来をつくり、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え出す子どもを育成することが大切だと考えます。

本市は「志をもち、未来をたくましく切り拓く子ども」の

新教育長 就任の挨拶

薄俊哉教育長が4月1日付けで就任しました。

育成を目指して、コミュニティ・スクールを基盤とした「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の双方方向からの教育を推進してまいりました。保・幼・小の交流や小・中の連携など、縦のつながりだけでなく、学校・家庭・地域が連携・共働した横のつながりを大切に、学校だけでは成し得ない地域と共に子どもを育む「ふるさと学習」を展開しております。各学校や各中学校区の特徴と魅力を活かした福津ならではのさまざまな取り組みは、全国的にも注目されております。

今後、学校・家庭・地域が共働しながら地域の未来を創っていく子どもの育成を図るため、本市の教育行政の更なる発展に誠心誠意努めてまいります。今後の福津市の教育に、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

薄 俊 哉